

温故知新

(封建社会のはじまり)

No. 31

1274年 []

元軍が朝鮮半島から北九州に押し寄せ、博多湾から上陸。

日本は、執権 () を中心に対抗。

元軍の () や火薬を用いた攻撃に苦戦。



強い風雨が元軍の船を襲い、引き上げる。

1281年 []

元は中国南部の () を滅ぼして力を強め、

再び、朝鮮と中国本土の2方面から大軍で押し寄せる。



元軍はまとまりがなかった。【モンゴル人と支配下の()人()人】
暴風雨で打撃を受けて引き上げた。

この2回の元軍の来攻を [] という。

元はその後にも日本遠征を計画したが、

中国南部での反乱、ベトナムの反抗で実行できなかった。

◎ 幕府のおとろえ

[] の後、がんばって戦った西国の () は、大きな犠牲
をはらったが、国内の戦いと違い、十分な恩賞がもらえなかった。

商工業の発達により、御家人は () を使うことがふえた。

そのために、所領を () に入れたり、売ったりする者がふえた。



1297年 [] をだす。

幕府は、手放した所領を御家人にただで取り戻させた。

幕府は信用をなくす。

このころ、幕府では、() 一門が勢力をふるったので、

御家人の間には、() に対する不満が高まった。



・近畿地方などに () とよばれる者たちが出現

・荘園領主の使者を追い返す。

・年貢を奪う。



幕府は、取り締まることができなかった。

◎ 朝廷に政治の実権を取り戻そうと考えていた () 天皇) は、

幕府のおとろえをみて、幕府を倒す計画を立てた。

・ () 等の近畿やその周辺の武士

・ () ・ () 等の関東の有力な御家人

が天皇方につく。

1333年 [] 滅びる

元軍敗退の原因

- ① 「神風」とまで呼ばれた自然現象の大風雨。
- ② 異民族による連合軍である。高麗軍大将と元軍大将の対立。
- ③ 強制的に建造された船がもろかった。
- ④ 元王のためにどうして日本にいき戦わねばならないかという疑問。